

対象校No. 876

注4

学校コード F127310108134

注3

設置年度

令和

6年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

帝塚山学院大学 総合心理学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人帝塚山学院
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	教学センター 企画課
職名・氏名	カチヨウ モリ ミカコ 課長・森 美香子
電話番号	072-296-1331 (自動アナウンス番号2)
(夜間)	
e-mail	kikaku@tezukayama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科 (平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 □□研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 □□研究科 □□専攻 (修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科 (通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

総合心理学部

ページ	＜総合心理学科＞
3	1. 調査対象大学等の概要等
7	2. 授業科目の概要
14	3. 施設・設備の整備状況、経費
15	4. 既設大学等の状況
16	5. 教員組織の状況
30	6. 附帯事項等に対する履行状況等
31	7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人帝塚山学院

(2) 大 学 名

帝塚山学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒590-0113

大阪府堺市南区晴美台4-2-2

(注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ノムラ マサアキ) 野村 正朗 (平成27年7月)		
学 長	(ツダ キンスケ) 津田 謹輔 (平成26年4月)	(ニシカワ リュウゾウ) 西川 隆蔵 (令和6年1月)	死去により、令和6年1月 より変更 (6)
学 部 長	(ニシカワ リュウゾウ) 西川 隆蔵 (令和6年4月)	(タマコシ セイジ) 玉越 勢治 (令和6年4月)	学長就任により、令和6 年4月より変更 (6)
学科長等	(タマコシ セイジ) 玉越 勢治 (令和6年4月)		

(注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(注)

- 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したもの、別ファイルにて提出してください。
- 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	取容定員		
総合心理学部 総合心理学科 学士（心理学）	文学関係 社会学・社会福祉学関係 体育関係	4年	130人	0人 3年次 0人 4年次 0人	520人	—	

(注)

- 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- 学生募集停止を予定している場合は、「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期												
A 入学定員	人 — (—) [—]	130														
志願者数	— (—) [—]	698	—													
受験者数	— (—) [—]	673	—													
合格者数	— (—) [—]	532	—													
B 入学者数	— (—) [—]	139	—													
入学定員超過率B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.06			

(注)

- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- 転入学生は記入しないでください。
- []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- 報告年度に春季入学以外の学期区分の設置を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分を設けない」と選択してください。
- 「春季入学以外の学期区分を予定」でない場合は、「—」を選択。)
- 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	他の学期	春季入学	他の学期	春季入学	他の学期	春季入学	他の学期	春季入学	他の学期	春季入学	他の学期	春季入学	他の学期	
1年次	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	139	—	
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			
2年次			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	
			(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
3年次					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
					[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	
					(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
4年次							—	—	—	—	—	—	—	—	
							[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	
							(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
計	—	—	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	139	[—]	
			(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			

(注)

- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ()内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)	
			入学した年度	退学者数			
				うち留学生数			
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人		
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人		
			令和2年度	- 人	- 人		
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人		
			令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人		
			令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
			令和4年度	- 人	- 人		
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人		
			令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
			令和4年度	- 人	- 人		
			令和5年度	- 人	- 人		
令和6年度	139 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人		
			令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
			令和4年度	- 人	- 人		
			令和5年度	- 人	- 人		
			令和6年度	- 人	- 人		
合 計		0 人		0 人	0 人		

(注) 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
　　・就職　　・学生個人の心身に関する事情　　・家庭の事情　　・除籍　　・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{139} = \boxed{0} \%$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

〈総合心理学部 総合心理学科〉

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
導入学習	基礎演習Ⅰ	1前	1		9	1	3				
	基礎演習Ⅱ	1後	1		9	1	3				
	基礎演習Ⅲ	2前	1		9	1	3				
	基礎演習Ⅳ	2後	1		9	1	3				
	日本語表現法	1・2前	2		1					3	
	カレッジコミュニティⅠ	1・2通	2			1				4	
	カレッジコミュニティⅡ	2・3通	2			1				3	
	読書演習	2・3後	2		1					1	
	小計(8科目)	-	2	10	0	9	1	3	0	0	6
	A群(先人の知を受けつぐ)	思想の世界	1・2前	2		1					
	A群(先人の知を受けつぐ)	日本の歴史	1・2前	2							
	A群(先人の知を受けつぐ)	民族と文化	1・2後	2							
	A群(先人の知を受けつぐ)	ことばの世界	1・2前後	2		1					1
	A群(先人の知を受けつぐ)	日本語を知る	1・2前後	2							2
	A群(先人の知を受けつぐ)	教養としての日本文化	1・2前後	2							1
	A群(先人の知を受けつぐ)	西洋の文化を考える	1・2後	2							1
	A群(先人の知を受けつぐ)	子どもの文化	1・2後	2							1
	A群(先人の知を受けつぐ)	芸術を鑑賞する	1・2後	2							1
	A群(先人の知を受けつぐ)	伝統文化演習	2・3前後	1							1
	B群(世界と今を読み解く)	日本の憲法	1・2後	2						1	
	B群(世界と今を読み解く)	くらしと法律	1・2前	2							1
	B群(世界と今を読み解く)	現代社会を考える	1・2前後	2		1					1
	B群(世界と今を読み解く)	東アジアを知る	1・2前	2							1
	B群(世界と今を読み解く)	人権を考える	1・2後	2		2					1
	B群(世界と今を読み解く)	平和を考える	1・2前	2							2
	B群(世界と今を読み解く)	メディアを考える	1・2後	2		1					1
	B群(世界と今を読み解く)	情報リテラシー	1・2前	2							1
	B群(世界と今を読み解く)	心理学	1・2前後	2							1
	B群(世界と今を読み解く)	くらしと化学	1・2後	2							1
	B群(世界と今を読み解く)	生物を知る	1・2前後	2							1
	B群(世界と今を読み解く)	データリテラシー	2・3前後	2		1					1
	B群(世界と今を読み解く)	社会と言語	2・3前	2		1					1
基礎教育科目	C群(未来をひらく)	科学と倫理	1・2後	2						1	
	C群(未来をひらく)	ソーシャルメディア論	1・2後	2							1
	C群(未来をひらく)	先端技術と文化	1・2後	2							6
	C群(未来をひらく)	健康を管理する	1・2前後	2							2
	C群(未来をひらく)	書いて学ぶ文芸	1・2後	2							1
	C群(未来をひらく)	描いて学ぶアート	1・2前	2							1
	C群(未来をひらく)	健康とスポーツA	1・2前	1		1					2
	C群(未来をひらく)	健康とスポーツB	1・2後	1		1					2
	C群(未来をひらく)	生涯スポーツ実習A	2・3前	1		1					2
	C群(未来をひらく)	生涯スポーツ実習B	2・3後	1		1					2
	C群(未来をひらく)	教育を考える	1・2前	2		1					
キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1・2前	2						3		4
	キャリアデザインⅡ	1・2後	2						3		4
	キャリアデザインⅢ	1・2後	2						1		1
	キャリアデザインⅣ	2・3前	2						4		2
	キャリアデザインⅤ	2・3後	2						1		2
	インターンシップA	2・3通	2						1		1
	インターンシップB	3・4通	2						1		1
	プロジェクト型インターンシップ	3・4通	2		1				2		2
	総合英語Ⅰ	1・2前	1						5		8
	総合英語Ⅱ	1・2後	1						5		8
外国語	総合英語Ⅲ	2・3前	1						5		5
	総合英語Ⅳ	2・3後	1						5		5
	実践コミュニケーション英語Ⅰ	1・2前	1						5		5
	実践コミュニケーション英語Ⅱ	1・2後	1						5		5
	実践コミュニケーション英語Ⅲ	2・3前	1						5		5
	実践コミュニケーション英語Ⅳ	2・3後	1						5		5
	資格英語Ⅰ	1・2前	1						2		2
	資格英語Ⅱ	1・2後	1						2		2
	フランスのことばと文化Ⅰ	2・3前	2						1		1
	フランスのことばと文化Ⅱ	2・3後	2						1		1
情報処理	中国のことばと文化Ⅰ	2・3前	2						1		1
	中国のことばと文化Ⅱ	2・3後	2						1		1
	韓国のことばと文化Ⅰ	2・3前	2						1		1
	韓国のことばと文化Ⅱ	2・3後	2						1		1
	情報活用基礎A	1・2前後	1				1		2		4
	情報活用基礎B	1・2前後	1				1		2		4
	情報活用A	1・2前後	1						1		1
	情報活用B	1・2前後	1						1		1
	プログラミング言語Ⅰ	1・2前	2						1		2

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
導入学習	基礎演習Ⅰ	1前	1			7	4	2			1
	基礎演習Ⅱ	1後	1			7	4	2			1
	基礎演習Ⅲ	2前	1			8	4	3			1
	基礎演習Ⅳ	2後	1			8	4	3			1
	日本語表現法	1・2前	2		1	1	1				2
	カレッジコミュニティⅠ	1・2通	2			1	2	1			4
	カレッジコミュニティⅡ	2・3通	2			2	2	1			3
	読書演習	2・3後	2		1						1
	小計(8科目)	-	2	10	0	8	4	3	0	0	9
	A群(先人の知を受けつぐ)	思想の世界	1・2前	2		2					
	A群(先人の知を受けつぐ)	日本の歴史	1・2前	2		2					1
	A群(先人の知を受けつぐ)	民族と文化	1・2後	2		2					1
	A群(先人の知を受けつぐ)	ことばの世界	1・2前後	2		1					1
	A群(先人の知を受けつぐ)	日本語を知る	1・2前後	2		2					1
	A群(先人の知を受けつぐ)	教養としての日本文化	1・2前後	2		2					2
	A群(先人の知を受けつぐ)	西洋の文化を考える	1・2後	2		2					1
	A群(先人の知を受けつぐ)	子どもの文化	1・2後	2		2					1
	A群(先人の知を受けつぐ)	芸術を鑑賞する	1・2後	2		2					1
	A群(先人の知を受けつぐ)	伝統文化演習	2・3前後	1							1
	B群(世界と今を読み解く)	日本の憲法	1・2後	2		2					1
	B群(世界と今を読み解く)	くらしと法律	1・2前	2		2					1
	B群(世界と今を読み解く)	現代社会を考える	1・2前後	2		1					1
	B群(世界と今を読み解く)	東アジアを知る	1・2前	2		2					1
	B群(世界と今を読み解く)	人権を考える	1・2後	2		2					2
	B群(世界と今を読み解く)	平和を考える	1・2前	2		2					1
	B群(世界と今を読み解く)	メディアを考える	1・2後	2		1					1
	B群(世界と今を読み解く)	情報リテラシー	1・2前	2		1					1
	B群(世界と今を読み解く)	心理学	1・2前後	2		2					1
	B群(世界と今を読み解く)	くらしと化学	1・2後	2		2					1
	B群(世界と今を読み解く)	生物を知る	1・2前後	2		2					1
	B群(世界と今を読み解く)	データリテラシー	2・3前後	2		1					1
	B群(世界と今を読み解く)	社会と言語	2・3前	2		1					1
基礎教育科目	C群(未来をひらく)	科学と倫理	1・2後	2		2					1
	C群(未来をひらく)	ソーシャルメディア論	1・2後	2		2					6
	C群(未来をひらく)	先端技術と文化	1・2後	2		2					2
	C群(未来をひらく)	健康を管理する	1・2前後	2		3					2
	C群(未来をひらく)	書いて学ぶ文芸	1・2後	2		1					1
	C群(未来をひらく)	描いて学ぶアート	1・2前	2		1					1
	C群(未来をひらく)	健康とスポーツA	1・2前	1		1					2
	C群(未来をひらく)	健康とスポーツB	1・2後	1		1					2
	C群(未来をひらく)	生涯スポーツ実習A	2・3前	1		1					2
	C群(未来をひらく)	生涯スポーツ実習B	2・3後	1		1					2
	C群(未来をひらく)	教育を考える	1・2前	2		1					
キャリア形成	キャリアデザインⅠ	1・2前	2						3		4
	キャリアデザインⅡ	1・2後	2						3		4
	キャリアデザインⅢ	1・2後	2						1		1
	キャリアデザインⅣ	2・3前	2						4		2
	キャリアデザインⅤ	2・3後	2						1		2
	インターンシップA	2・3通	2						1		1
	インターンシップB	3・4通	2						1		1
	プロジェクト型インターンシップ	2・3通	2						2		2
	キャリアデザインⅠ	1・2後									

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
情報処理	プログラミング言語 II	1・2後	2							1
	データサイエンス・AI概論	1・2後	2							1
	データサイエンス・AI実習	3・4前	2							1
基盤教育科目	図書館概論	1・2前	2							1
	図書館情報資源概論	1・2後	2							1
	博物館概論	2・3前	2							1
	博物館経営論	2・3後	2							1
	生涯学習概論 I	2・3前	2							1
	生涯学習概論 II	2・3後	2							1
	レクリエーション概論	2・3前	2							1
	レクリエーション実技	2・3後	1							1
	レクリエーション現場実習	3・4通	1							1
小計(76科目)		—	14	117	0	3	0	1	0	46

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
情報処理	プログラミング言語 II	1・2後	2							2
	データサイエンス・AI概論	1・2後	2							1
	データサイエンス・AI実習	3・4前	2							1
基盤教育科目	図書館概論	1・2前	2							1
	図書館情報資源概論	1・2後	2							1
	博物館概論	2・3前	2							1
	博物館経営論	2・3後	2							1
	生涯学習概論 I	2・3前	2							1
	生涯学習概論 II	2・3後	2							1
	レクリエーション概論	2・3前	2							1
	レクリエーション実技	2・3後	1							1
	レクリエーション現場実習	3・4通	1							1
小計(76科目)		—	14	117	0	3	0	1	0	0

基礎科目	心理学基礎実験 I	1・2前	1		1					5
	心理学基礎実験 II	1・2後	2		1					5
	心理学概論 I	1・2前	2		1		1			
	心理学概論 II	1・2後	2		1		1			
	心理調査概論	1・2前	2		2		2			
	心理学統計法 I	1・2後	2		1					
	解剖生理学	1・2前	2		1					
	公衆衛生学	1・2後	2							
	小計(8科目)	—	6	8	0	2	0	3	0	7

基礎科目	心理学基礎実験 I	1・2前	1		1					5
	心理学基礎実験 II	1・2後	2		1					5
	心理学概論 I	1・2前	2		1		1			
	心理学概論 II	1・2後	2		1		1			
	心理調査概論	1・2前	2		2		1			
	心理学統計法 I	1・2後	2		1					
	解剖生理学	1・2前	2		1					
	公衆衛生学	1・2後	2							
	小計(8科目)	—	6	8	0	2	0	3	0	0

心理学・行動科学群	心理学実験	2・3前後	2							5
	心理統計実習 I	2・3前	1							1
	心理統計実習 II	2・3後	1							1
	心理学概論 I	1・2前	2		1		1			
	心理学概論 II	1・2後	2		1		1			
	心理学調査概論	1・2前	2		2		2			
	心理学統計法 I	1・2後	2		1					
	解剖生理学	1・2前	2		1					
	公衆衛生学	1・2後	2							
小計(8科目)		—	6	8	0	2	0	3	0	0

心理学・行動科学群	心理学実験	2・3前後	2							5
	心理統計実習 I	2・3前	1							1
	心理統計実習 II	2・3後	1							1
	心理学概論 I	1・2前	2		1		1			
	心理学概論 II	1・2後	2		1		1			
	心理学調査概論	1・2前	2		2		2			
	心理学統計法 I	1・2後	2		1					
	解剖生理学	1・2前	2		1					
	公衆衛生学	1・2後	2							
小計(8科目)		—	6	8	0	2	0	3	0	0

基幹科目	栄養学	2・3前	2							1
	生涯スポーツ論	2・3前	2		1					
	社会保障論	2・3前	2							
	公的扶助論	2・3後	2							
	社会福祉原論 I	2・3前	2							
	社会福祉原論 II	2・3後	2							
	こどもとジェンダー	2・3前	2		1					
	こどもと教育の社会学	2・3後	2		1					
	こども学	2・3前	2		1					
小計(38科目)		—	0	78	0	8	1	2	0	21

基幹科目	栄養学	2・3前	2							1
	生涯スポーツ論	2・3前	2		1					
	社会保障論	2・3前	2							
	公的扶助論	2・3後	2							
	社会福祉原論 I	2・3前	2							
	社会福祉原論 II	2・3後	2							
	こどもとジェンダー	2・3前	2		1					
	こどもと教育の社会学	2・3後	2		1					
	こども学	2・3前	2		1					
小計(38科目)		—	0	78	0	8	1	2	0	21

展開科目	心理演習(臨床心理学演習)	3・4通	2		1		1			1
	心理学の支援法 A	3・4前	2		1					
	心理学の支援法 B	3・4後	2		1					
	思春期青年期心理学	3・4前	2		1					
	家族心理学 I	3・4前	2		1					
	家族心理学 II	3・4後	2		1					
	司法・犯罪心理学	3・4後	2		1					
	異常心理学	3・4前後	2		1					
	精神疾患とその治療	3・4前	2		1					
小計(38科目)		—	0	78	0	8	1	2	0	21

展開科目	心理演習(臨床心理学演習)	3・4通	2		1		1			1
	心理学の支援法 A	3・4前	2		1					
	心理学の支援法 B	3・4後	2		1					
	思春期青年期心理学	3・4前	2		1					
	家族心理学 I	3・4前	2		1					
	家族心理学 II	3・4後	2		1					
	司法・犯罪心理学	3・4後	2		1					
	異常心理学	3・4前後	2		1					
	精神疾患とその治療	3・4前	2		1					
小計(38科目)		—	0	78	0	8	1	2	0	21

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
臨床心理学群	心理学英語文献講読C	3・4前	2		1					1
	公認心理師の職責	4前	2		2					1
	関係行政論	4前	1		2	1	1			1
	心理実習（臨床心理学現場実習）I	4前	1		2	1	1			1
	心理実習（臨床心理学現場実習）II	4後	1		2	1	1			1
	障害者・障害児心理学I	3・4前	2		2					1
	障害者・障害児心理学II	3・4後	2		2					1
	こどもとスポーツ	3・4前	2		1					1
	こどもマーケティング	3・4前	2		1					1
	スポーツ心理学	3・4後	2		2					1
展開科目	ポジティブ心理学	3・4前	2		2					1
	老年学	3・4前	2		2					1
	福祉心理学	3・4後	2		2					1
	精神保健	3・4前	2		2					1
	生涯学習支援論I	3・4前	2		2					1
	生涯学習支援論II	3・4後	2		2					1
	社会教育課題研究	3・4後	2		1					1
	地域連携実践演習A	3・4前	2		1					1
	地域連携実践演習B	3・4後	2		1					1
	社会教育演習	4前	1		1					1
学科専門科目	社会教育実習	4前	1		1					1
	小計（40科目）	—	0	73	0	6	1	2	0	0
	障害者・障害児心理学I	3・4前	2		7	1	2			1
	障害者・障害児心理学II	3・4後	2		7	1	2			1
	こどもとスポーツ	3・4前	2		1					1
	こどもマーケティング	3・4前	2		1					1
	スポーツ心理学	3・4後	2		2					1
	ポジティブ心理学	3・4前	2		2					1
	老年学	3・4前	2		2					1
	福祉心理学	3・4後	2		2					1
展開科目	精神保健	3・4前	2		2					1
	生涯学習支援論I	3・4前	2		2					1
	生涯学習支援論II	3・4後	2		2					1
	社会教育課題研究	3・4後	2		1					1
	地域連携実践演習A	3・4前	2		1					1
	地域連携実践演習B	3・4後	2		1					1
	社会教育演習	4前	1		1					1
	社会教育実習	4前	1		1					1
	小計（40科目）	—	0	73	0	6	1	2	0	0
	合計（175科目）	—	30	290	0	9	1	3	0	0
卒業要件及び履修方法										

卒業要件は、基盤教育科目（導入学習2単位必修、A・B・C群から各2単位選択必修、キャリア形成4単位必修、外国語8単位必修、情報処理2単位必修を含む）計28単位。
学科専門科目（基礎科目6単位必修、基幹科目24単位選択必修、展開科目、さらに演習科目8単位必修を含む）計76単位。
関連科目として、基盤教育科目、学科専門科目の余剰単位その他20単位以上、合計124単位を修得すること。
(履修料目の登録の上限 : 44単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
臨床心理学群	心理学英語文献講読C	3・4前	2		1					1
	公認心理師の職責	4前	2		2					1
	関係行政論	4前	1		2	1	1			1
	心理実習（臨床心理学現場実習）I	4前	1		2	1	1			1
	心理実習（臨床心理学現場実習）II	4後	1		2	1	1			1
	障害者・障害児心理学I	3・4前	2		2					1
	障害者・障害児心理学II	3・4後	2		2					1
	こどもとスポーツ	3・4前	2		1					1
	こどもマーケティング	3・4前	2		1					1
	スポーツ心理学	3・4後	2		2					1
展開科目	ポジティブ心理学	3・4前	2		2					1
	老年学	3・4前	2		2					1
	福祉心理学	3・4後	2		2					1
	精神保健	3・4前	2		2					1
	生涯学習支援論I	3・4前	2		2					1
	生涯学習支援論II	3・4後	2		2					1
	社会教育課題研究	3・4後	2		1					1
	地域連携実践演習A	3・4前	2		1					1
	地域連携実践演習B	3・4後	2		1					1
	社会教育演習	4前	1		1					1
学科専門科目	社会教育実習	4前	1		1					1
	小計（40科目）	—	0	73	0	6	1	2	0	0
	専門演習I	3・4前	2		7	1	2			1
	専門演習II	3・4後	2		7	1	2			1
	卒業演習I	4前	2		7	1	2			1
	卒業演習II	4後	2		7	1	2			1
	卒業研究	4通	4		7	1	2			1
	小計（5科目）	—	8	4	0	7	1	2	0	—
	合計（175科目）	—	30	290	0	9	1	3	0	0
	卒業要件及び履修方法	—	30	290	0	9	4	3	0	0

卒業要件は、基盤教育科目（導入学習2単位必修、A・B・C群から各2単位選択必修、キャリア形成4単位必修、外国語8単位必修、情報処理2単位必修を含む）計28単位。
学科専門科目（基礎科目6単位必修、基幹科目24単位選択必修、展開科目、さらに演習科目8単位必修を含む）計76単位。
関連科目として、基盤教育科目、学科専門科目の余剰単位その他20単位以上、合計124単位を修得すること。
(履修料目の登録の上限 : 44単位(年間))

(注)

- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいかなかったために未開講となつた科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
(例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・担当教員の変更により、「基礎演習Ⅰ」の教員等の配置を「教授9」「准教授1」「講師3」から、「教授7」「准教授4」「講師2」「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「基礎演習Ⅱ」の教員等の配置を「教授9」「准教授1」「講師3」から、「教授7」「准教授4」「講師2」「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「基礎演習Ⅲ」の教員等の配置を「教授9」「准教授1」「講師3」から、「教授8」「准教授4」「講師3」に変更。
- ・担当教員の変更により、「基礎演習Ⅳ」の教員等の配置を「教授9」「准教授1」「講師3」から、「教授8」「准教授4」「講師3」に変更。
- ・担当教員の変更により、「日本語表現法」の教員等の配置を「教授1」「兼任・兼担3」から、「教授1」「准教授1」「兼任・兼担2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「カレッジコミュニティⅠ」の教員等の配置を「講師1」「兼任・兼担4」から、「教授1」「准教授2」「講師1」「兼任・兼担4」に変更。
- ・担当教員の変更により、「カレッジコミュニティⅡ」の教員等の配置を「講師1」「兼任・兼担3」から、「准教授2」「講師1」「兼任・兼担3」に変更。
- ・担当教員の変更により、「日本語を知る」の教員等の配置を「兼任・兼担2」から、「兼任・兼担1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「教養としての日本文化」の教員等の配置を「兼任・兼担1」から、「兼任・兼担2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「現代社会を考える」の教員等の配置を「教授1」から、「教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「平和を考える」の教員等の配置を「兼任・兼担1」から、「兼任・兼担2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「メディアを考える」の教員等の配置を「教授1」から、「教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「心理学」の教員等の配置を「講師1」から、「准教授1」「講師0」「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「生物を知る」の教員等の配置を「兼任・兼担2」から、「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「先端技術と文化」の教員等の配置を「兼任・兼担5」から、「兼任・兼担6」に変更。
- ・担当教員の変更により、「健康を管理する」の教員等の配置を「兼任・兼担3」から、「教授1」「兼任・兼担2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「教育を考える」の教員等の配置を「教授1」から、「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「キャリアデザインⅠ」の教員等の配置を「兼任・兼担3」から、「兼任・兼担4」に変更。
- ・担当教員の変更により、「キャリアデザインⅡ」の教員等の配置を「兼任・兼担3」から、「兼任・兼担4」に変更。
- ・「キャリアデザインⅢ」の教員等の配置を「兼任・兼担1」から、「兼任・兼担2」に修正。
- ・「キャリアデザインⅣ」の教員等の配置を「兼任・兼担1」から、「兼任・兼担2」に修正。
- ・キャリア形成科目の構成見直しにより、「インターンシップA」の配当年次を「2・3通」から「3・4通」に変更。
- ・キャリア形成科目の構成見直しにより、「プロジェクト型インターンシップ」の名称を「プロジェクト型キャリア研究」に変更。配当年次を「3・4通」から「2・3通」に変更。
- ・担当教員の変更により、「総合英語Ⅰ」の教員等の配置を「兼任・兼担5」から、「兼任・兼担8」に変更。
- ・担当教員の変更により、「総合英語Ⅱ」の教員等の配置を「兼任・兼担5」から、「兼任・兼担8」に変更。
- ・担当教員の変更により、「情報活用基礎A」の教員等の配置を「講師1」「兼任・兼担2」から、「講師1」「兼任・兼担4」に変更。
- ・担当教員の変更により、「情報活用基礎B」の教員等の配置を「講師1」「兼任・兼担2」から、「講師1」「兼任・兼担4」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「プログラミング言語Ⅰ」の教員等の配置を「兼任・兼担1」から、「兼任・兼担2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「プログラミング言語Ⅱ」の教員等の配置を「兼任・兼担1」から、「兼任・兼担2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「心理調査概論」の教員等の配置を「講師2」から、「准教授1」「講師1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「心理学統計法Ⅰ」の教員等の配置を「兼任・兼担1」から、「准教授1」「講師1」「兼任・兼担0」に変更。
- ・「心理学アセスメント」の教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師1」「兼任・兼担1」から、「教授2」「准教授1」「講師1」「兼任・兼担2」に修正。
- ・担当教員の変更により、「こども学」の教員等の配置を「教授1」から、「教授0」「准教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「専門演習Ⅰ」の教員等の配置を「教授7」「准教授1」「講師2」から、「教授6」「准教授4」「講師2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「専門演習Ⅱ」の教員等の配置を「教授7」「准教授1」「講師2」から、「教授6」「准教授4」「講師2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「卒業演習Ⅰ」の教員等の配置を「教授7」「准教授1」「講師2」から、「教授6」「准教授4」「講師2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「卒業演習Ⅱ」の教員等の配置を「教授7」「准教授1」「講師2」から、「教授6」「准教授4」「講師2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「卒業研究」の教員等の配置を「教授7」「准教授1」「講師2」から、「教授6」「准教授4」「講師2」に変更。

(注) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目的追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
変更内容には、授業科目の未開設や廃止については記入しないでください。
不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	155 科目	0 科目	175 科目	20 科目	155 科目	0 科目	175 科目	[-] [-] [-] [-]

(注)

- 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)

- 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となつた科目については記入しないでください。
- 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)

- 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)

- 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{175} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内 容						備考		
(1) 校地等	区分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		帝塚山学院泉ヶ丘中学高等学校(必要面積・運動場8,400m ²)と共に用(収容定員:1,320人)			
	校舎敷地	16,973.45m ²	0m ²	15,756.83m ²	32,730.28m ²					
	運動場用地	4,273.02m ²	6,358.00m ²	4,823.70m ²	15,454.72m ²					
	小計	21,246.47m ²	6,358.00m ²	20,580.53m ²	48,185.00m ²					
	その他	6,645.00m ²	0m ²	0m ²	6,645.00m ²					
	合計	27,891.47m ²	6,358.00m ²	20,580.53m ²	54,830.00m ²					
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		16,973.71m ²	16,973.71m ²			
	16,973.71m ² (16,973.71m ²)	0m ² (0m ²)	0m ² (0m ²)	(16,973.71m ²)						
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	0室	大学全体			
	30室	10室	29室 (補助職員 2人)	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)					
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			教員数変更による見直しのため(6)		
		総合心理学部 総合心理学科			12 +1 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書冊 〔うち外国書〕	学術雑誌種 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料点	機械・器具点	標本点	令和5年度実績に基づく変更(6)		
	総合心理学部 総合心理学科	49,184 [2,034] (46,348 [1,977]) (46,371 [1,998])	24 [21] (24 [21])	2 [2] (2 [2])	1,444 (1,447) (1,424)	49 (41)	0 (0)			
	計	49,184 [2,034] (46,348 [1,977]) (46,371 [1,998])	24 [21] (24 [21])	2 [2] (2 [2])	1,444 (1,447) (1,424)	49 (41)	0 (0)			
	図書館	面 積	1,391.84m ²	閲覧座席数	110席	収納可能冊数	183,180冊			
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体		
	1,797.28m ²	フィットネスルーム			テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	令和5年度実績に基づく変更(6) 令和6年度予算編成及び令和5年度実績に基づく変更(6)		
	経費の見積り	教員1人当たり研究費等	350千円	350千円	図書購入費	2,570千円 2,872千円	2,900千円	3,050千円		
	共同研究費等	3,487千円 1,615千円	1,700千円	設備購入費	6,013千円 7,820千円	13,160千円	4,890千円			
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,460千円	1,210千円	1,210千円	1,210千円	— 千円	— 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学経営費補助金 資産運用収入、雑収入 等								

(注)

- 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	帝塚山学院 大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
リベラルアーツ学部	年	人	年次人	人	-	倍	倍	年度	年度	-				
リベラルアーツ学科	4	120	-	480	-	1.21	1.17	-	平成21	-				
総合心理学部	4	130	-	520	-	1.06	-	-	令和6	-				
総合心理学科	4	130	-	520	学士(心理学)	1.06	-	-	令和6	同上				
食環境学部		120	-	480	-	1.03	-	-	令和6	-				
食イノベーション学科	4	40	-	160	学士(食産業学)	0.62	-	-	令和6	同上				
管理栄養学科	4	80	-	320	学士(栄養学)	1.23	-	-	令和6	同上				
人間科学部		-	-	-	-	-	-	-	平成18	-	平成21年度より名称変更			
心理学科	4	-	-	-	学士(心理学)	-	-	-	平成21	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
食物栄養学科	4	-	-	-	学士(食物栄養)	-	-	-	平成18	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
大学全体	4	370	-	1480	-	-	-	-	-	-				

(注) 本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- 本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- 「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
届出時 (令和5年)	リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科の収容定員超過の是正に努めること。 【届出】遵守事項	リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科の収容定員充足率は届出時は1.27倍（学生数613名／収容定員480名）であったが、1.21倍（学生数583名／収容定員480名）に是正している。（6）	履行中

(注)

- 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

- 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜総合心理学部 総合心理学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制
a 委員会の設置状況
帝塚山学院大学（以下「本学」という。）に帝塚山学院大学教学委員会（以下「委員会」という。）を置き、中長期的な教学政策の検討・立案及び教学全般に関する事項の検討を行い、本学の三つのポリシーに基づいた教学体制の改善及び構築を推進することを目的とする。 （帝塚山学院大学教学委員会規程第1条）
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
委員会は副学長は議長を努め、学部長、教務部長、基盤教育機構長、大学事務局長、教学センター長等により構成されている。委員会は年数回程度実施している。 委員会の下に、ワーキンググループとして各教育組織の担当者及び事務局からなる「教学マネジメントWG」「カリキュラム運営WG」を置き、原則月1回実施している。
c 委員会の審議事項等
委員会は、次の各号に掲げる事項の問題点の抽出及びその対策並びに追加施策等を大学評議会に提案する。 （1）中長期的な教学政策の検討・立案 （2）学修目標の具体化、授業科目・教育課程の編成・実施に関する事項 （3）資格課程の編成・実施、実習・事前事後指導の実施及び志望学生の支援に関する事項 （4）学修及び教育の方法、過程、成果の把握とその可視化に関する事項 （5）データに基づく教育活動の検証及び改善・更新に関する事項 （6）その他、教学に関する事項 （帝塚山学院大学教学委員会規程第5条）

② 実施状況

a 実施内容

- ア. 授業公開ウィーク
- イ. 全教員対象としたFD/SD研修会
- ウ. 各教育組織が主催するFD/SD研修会

b 実施方法、c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. 授業公開ウィーク

春学期・秋学期それぞれ特定の一週間を授業公開ウィークとして、原則全授業を教職員が見学可能としている。見学した教職員は報告書を提出し、報告内容は授業担当教員及び管理職にフィードバックを行うことで授業改善につなげている。（参加教員47名）

イ. 全教員対象としたFD/SD研修会

令和5年度は「2024年度カリキュラムに関するFD研修会」（参加教員34名）、「認証評価受審に向けたSD研修会～認証評価の意義とポイント～」（参加教員48名）、「シラバス作成FD研修会」（参加教員40名）、「基礎演習に関する研修会」（参加教員43名）等を実施した。

ウ. 各教育組織が主催するFD/SD研修会

令和5年度は「10のちからに関するFD研修会」（参加教員11名）、「「卒業研究」提出後の具体的運営」（参加教員19名）、「学科カリキュラムFD研修会」（参加教員9名）、「演習科目の位置付けと役割について」（参加教員11名）、「学生支援に関する情報交換会」（参加教員9名）等を実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD・SDに参加した教員それが授業改善等に反映させている。同時に、授業アンケート結果を対象にしたアセスメント活動や教員評価の実施など、改善を促す仕組みを運用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

「授業アンケート」として各学期の13～14週目に全科目を対象として実施している。学生はウェブシステム「帝塚山学院大学ポータル」より回答する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

令和5年度の回答率は春学期88.2%、秋学期87.1%であった。担当教員には回答者の氏名を公表せず、自由記述を含む結果をありのまま通知している。全教員に授業ごとの学生へのコメント入力（結果に対するコメント、今後の改善策）を求めており、学生には「帝塚山学院大学ポータル」上で、全科目のアンケート結果と教員コメントを確認することができるようしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部・学科は設置の趣旨・目的どおりに履行すべく課程を運営し、順調にその取組を行っている。開設初年次の入学定員充足率は106%となるなど、本学の学びの特色が一定の評価を得たと認識している。引き続き、趣旨・目的を達成できるよう教育研究活動に邁進していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年6月末 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和7年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和6年公益財団法人日本高等教育評価機構による大学評価を受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に關わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 無]

« a で「有」の場合»

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降] c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他]

« a で公表「無」の場合»

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。